

令和6年度帰国外国人児童生徒に対するきめ細かな支援事業 成果【東近江市教育委員会】

現状と課題

- ・外国人児童生徒の集中と分散
- ・生活習慣の違いやコミュニケーション不足による他の児童生徒とのトラブル
- ・日本語の習得が不十分なため、基礎的な学習内容の定着が図れない

東近江市教育委員会

日本語初期指導教室
運営協議会

日本語指導支援相談員

外国人児童生徒等日本語指導担当者会

連携

各関係機関

- ・発達支援センター
- ・学校問題対策支援室
- ・福祉関係
- ・市内ボランティア等

ともだち できたよ！
日本語 わかったよ！
学校 たのしいな！

拠点校
日本語初期指導教室情報交換
連携

帰国・外国人児童生徒在籍校

実施事業の概要

- ・運営協議会、連絡協議会の実施
- ・拠点校の設置等による指導体制のモデル化
- ・特別の教育課程による日本語指導の充実
- ・日本語能力測定方法等を活用した実践研修
- ・日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語支援指導員の派遣

「特別の教育課程」による指導目標の達成
(拠点校:86%)

効果的な日本語指導実践の交流【研修会】
(満足度アンケート100%)

【成果】

- ・日本語指導教室の公開授業を参観することで、新たに日本語指導の担当になった教員も指導や支援の在り方を理解することができた。
- ・運営協議会や連絡協議会で情報交換を行うことで拠点校での実践及び他の対象児童生徒在籍校との情報交換を密にすることができ、効果的な日本語指導・支援について研修を深めることができた。また、関係機関と連携し、協力した支援体制を構築できた。